

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は 2025 年日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

なお、2025 年度に改定し更新されているシューズ規程に関するルール（技規則（TR）5.2）の適用外とする。

2. 表彰について

①男女混合4×100mリレーを除く、各種目8位まで行い、1位に賞状とメダル、2位から8位までに賞状を授与する。

②表彰は、決勝の結果発表の30分後に行う。表彰対象者は、それまでに競技場1階玄関ロビーに集合すること。表彰は準備ができ次第行うが、決勝の結果発表後30分を過ぎて、表彰場所に来ない場合、不在の選手を除いて表彰式を行う。

ただし、各学年男女100mの表彰対象者は、競技役員の誘導により競技場1階玄関ロビーで待機し、表彰対象者がそろっている学年から随時表彰を行う。

③8位までの入賞者の表彰時の服装は、Tシャツ又はジャージ（下はハーフパンツ等も可）を着用し、盗撮・迷惑撮影防止の観点から競技用ユニフォームは着用しない。

3. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、ユニフォームの胸と背に確実に付けること。ただし、跳躍競技についてはこの限りでない。

4. リレーのオーダー用紙の提出について

①出場競技者を所定の用紙に記入し、招集完了時間の1時間前までに情報処理室に提出すること。（リレーオーダー用紙は招集場にある。）

②事故などにより、やむを得ず提出したメンバーの変更が生じた場合は、主催者が認めた場合のみ変更することができる。ただし、走順の変更はできない。（変更者の入れ替えのみ可）

5. 招集について

①第4ゲート付近に招集場所を設ける。（会場見取り図参照の事）。

招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載のとおりとする

②選手は、招集開始時刻に集合し、競技者係より最終点呼を受け、アスリートビブスとスパイクの点検、確認を受けること。

③招集完了時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。

④欠場する競技者は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

⑤代理人による招集は一切認めない。

招集時刻と他の競技種目の時間が重なる場合、事前に競技者係に二種目同時届を提出すること。

⑥競技者以外の招集場所への立入りを禁止する。

6. トラック競技

①競技に際してはスパイクシューズ（スパイクのピンは全種目とも9ミリ以下のピンとする。）、又は、シューズを使用すること。

②組・レーン順はプログラム記載のとおりとする。ただし、800mはオープンレーンで実施する。

③100m及び4×100mリレーの予選はタイムレースで行い、決勝は予選上位8番までの競技者またはチームで行う。ただし、5年、6年の100mにおいて、予選上位9位から16位までの競技者で、トライアルレース（TR）を行う。（TR出場者は、表彰対象者ではない。）

タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。

それでも決定できない時は抽選とする。（競技規則（TR）5.2）

④800mは、タイムレースで行い、全体の上位1番から8番までを表彰する。

⑤短距離のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。

⑥スターティングブロックは競技場に備え付けのものを使用すること。

⑦スタートの合図はイングリッシュコールで行う。

⑧同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、競技者の意思により走ることができるが、タイムの計測は行わない。

⑨80mハードルの規定

スタートから第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m

⑩リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは30mとする。

テイク・オーバー・ゾーンの中からスタートする。※ゾーン外から走り出してはならない。

- ⑪リレー競技におけるバトンは競技場に備え付けのものを使用し、マーカーのテープは各チーム（学校）で準備すること。また使用後のマーカーは必ずそのチーム（学校）の選手が外すこと。
- ⑫リレーオーダーはプログラムに記載されている選手以外は認めない。
リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。
ただし、男女による型の違いは認めるものとする。

7. フィールド競技

- ①競技に際してはスパイクシューズ（スパイクのピンは全種目とも9mm以下のピンとする。）、又は、シューズを使用すること。
- ②試技順はプログラム記載のとおりとする。
- ③走高跳
 - 1) 走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし背・腰等からの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
 - 2) バーの上げ方は、次の通りである。

種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子	80cm	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	以降3cmずつ
女子	80cm	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	以降3cmずつ

 - 3) 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、3回続けて失敗した時点で終了とする。
 - 4) 最初の試技の高さ及びパスは、ピット内にて競技役員に申告すること。
- ④走幅跳
 - 1) 全員3回の試技とする。
- ⑤ジャベリックボール投
 - 1) 全員3回の試技とする。
 - 2) 助走距離は15m以内とする。
 - 3) ジャベリックボールは競技場に準備されたものを使用する。
 - 4) 距離の計測は器具が最初に地面についた地点から計測する。
 - 5) ボール本体を持ち、オーバーハンスローでなげることとする。羽をだけを持って投げることは禁止する。

8. 記録・番組編成結果の発表について

- ①アスリートランキングに掲載する。
- ②予選が行われた種目の決勝の組み合わせ及びレーン順は、招集場横に掲示板を設置し、掲示する。

9. 事故防止と競技場の使用について

- ①選手・補助員・競技役員以外は、競技場内に入ってはならない。（雨天練習場に行くときは、スタンドを通ること。）
- ②選手の競技場への入退場については、すべて係員の誘導又は指示を受けること。
- ③ウォーミングアップ場所について
 - 1) 競技場は9時15分まで使用可能とする。
 - 2) 9時15分以降の練習は、補助競技場又は雨天練習場を利用すること。また、雨天練習での練習は、事故防止のために第2コーナー側から、第3コーナーに向かって走ること。（逆走禁止）
 - 3) 競技場、補助競技場及び雨天練習場内での跳躍及び投てきの練習は禁止とする。跳躍練習及び投てき練習は、競技開始前に、各競技場所において審判員の指示により行うこと。
- ④チーム控え場所及びスタンドの清掃は、監督・保護者の指示により確実に行うこと。
また、各チーム（学校）、各自で出したゴミは、確実に持ち帰ること。
- ⑤100mスタート付近及びその後方、フィニッシュライン付近及びその前方、走幅跳のピット正面での撮影は禁止する。
- ⑥盗難防止のため、貴重品は各チーム・各自で保管し、盗難・置き引きには十分注意すること。

10. ケガ等への対応について

- ①大会中のケガについては、応急処置のみ行うが、その後については本人（保護者・申し込み責任者）の責任に処置すること。
- ②熱中症に十分に注意すること。

11. 個人情報の取扱いについて

- ①本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
- ②参加申込の提出により、上記(1)の取扱いに承諾したものと見なし、氏名、クラブ名、学年、記録を紹介し掲示板及びアスリートランキングに掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。
入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
- ③本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞、ホームページ等に公表されることがある。